

R6 学校教育自己診断アンケート 集約結果及び次年度に向けて

●実施時期・実施方法について

実施時期は定年通り(11月末配付 締め切りは約3週間後)。質問項目の変更なし。今年より、全アンケートをGoogle Formsを利用して行った。保護者へは安全安心メールにURLを付ける形で回答依頼を行った。

⇒保護者、生徒実施分では、締め切りまでに回答数が伸びなかったため、あらためて紙媒体で配付し、紙での回答も可とし、締め切りも2学期終業式まで延長した。また、生徒用、保護者用ともにアンケートの回収率が下がっているため、次年度はより多く回答いただけるよう、運用面での改善が必要である。

生徒用 回答数:95 回収率44% (R5回収率56%)

——肯定的回答が増えた項目——(5pt以上 up)

- | | |
|------------------------|---------------------------|
| Q1 5.1pt↗「学校が楽しい」 | Q2 8.2pt↗「授業がわかりやすい」 |
| Q4 9.9pt↗「生徒を大切に思っている」 | Q6 17.1pt↗「社会のルール」 |
| Q7 10.6pt↗「気軽に相談できる」 | Q8 29.5pt↗「行事や係活動で自信がついた」 |

——否定的回答が増えた項目——(5pt以上 up)

- Q1 5.7pt↘「学校が楽しい」

——肯定的回答が低い項目——(肯定回答70pt以下・[R5年度])

- Q3 「ICT機器の利用頻度」65.3pt[58.6]
Q9 「進路学習」37.9pt[34.2]
Q10 「主権者教育」43.2pt[28.8]

【集計結果より】

「学校が楽しい」と感じる生徒が増えた一方で、否定的に感じる生徒も増加している。「気軽に相談できる」環境を維持・発展させ、悩みを抱える生徒が早期に支援を受けられる体制をさらに充実させることが必要である。

★次年度の重点課題とされる項目★ ※「⇒」以下は具体的な取り組み案

進路学習・主権者教育については、昨年より肯定的評価は増えたものの、依然低い状況にある。生徒会選挙をはじめ、様々な場面で多くの生徒にとってよりわかりやすく伝える工夫が必要となる。⇒進路部やキャリア教育推進委員会を中心に、今年度より始まった中学部からの職場体験や、「きょうだい学年」の取り組みなどをより一層充実させていく。また、これらの取り組みの成果を振り返り、成長を実感できるツールの導入を検討する。高等部社会科では、次年度のシラバスに選挙学習を位置づけており、今年度実施した出前授業を継続的に活用し、生徒が政治や選挙に対してより深い関心を持てるよう、内容を工夫しながら実施していく。

ICT機器の活用についても、生徒の期待に応えきれない状況が考えられる。教職員同士で活用事例の共有をより進め、利用頻度を高めていく。⇒情報部、授業力向上PTを中心に、事例のアーカイブ化やICT教材やアプリ等の情報の共有を行うことで、授業でのICT機器の利用を促していく。

保護者用 回答数:122 回収率58% (R5回収率63%)

——肯定的回答が増えた項目——(5pt 以上 up)

- | | |
|-----------------------|---------------------------|
| Q3 5.7pt↗「子どもの成長を感じる」 | Q4 7.4pt↗「安全安心な学校生活」 |
| Q5 10.6pt↗「キャリア教育の推進」 | Q6 6.5pt↗「適切な評価」 |
| Q7 9.8pt↗「参観機会の設定」 | Q10 6.6pt↗「教職員の専門性」 |
| Q11 6.5pt↗「教職員の障がい理解」 | Q12 14.9pt↗「情報機器の活用」 |
| Q13 6.6pt↗「学校行事の工夫」 | Q15 5.8pt↗「命やルールを守る態度の育成」 |
| Q16 8.2pt↗「教育方針の伝達」 | Q23 10.7pt↗「関係機関との連携」 |
| Q24 34.5pt↗「安心メール・HP」 | |

——否定的回答が増えた項目——(5pt 以上 up)

- Q8 5.8pt↘「参観・行事への参加」※「たまに」・「全くない」の割合の合計

——肯定的回答が低い項目——(肯定回答70pt以下・[R5年度])

- Q21「施設・設備」62.3pt[58.1]

【集計結果より】

23項目で学校の取り組みに対して80ptを超える肯定的な評価となった。特に情報発信における項目での肯定的回答の増加率が最も高くなっている。安心メールでの家庭用プリントの配信を増やしたことや、昨年度からの学校HPへの地域別福祉事業所案内の掲載等の取り組みが少なからず影響していると考えられる。一方で、施設・設備の改善と学校行事への保護者参加率の向上が課題として浮上している。

★次年度の重点課題とされる項目★ ※「⇒」以下は具体的な取り組み案

Q8「参観・行事への参加」の項目で、「たまに」・「全くない」の合計が17.2ptと高くなっている。学校行事の周知方法の改善と、学校設定日以外の日程でも希望すれば参観可能といった情報をより周知する必要がある。⇒**首席、各行事担当を中心に、周知の時期、案内のわかりやすさについて検討し、より家庭のニーズにあった形に改善する。行事後の保護者参加数やアンケートを参考に、不参加の原因を把握し、次年度の参加率向上に繋げていく。**

Q12「情報機器の活用」は昨年度に比べると肯定的な回答が増えているが、引き続き家庭や社会のニーズを踏まえつつ、活用場面を増やす。⇒**情報部、授業力向上PTを中心に、事例のアーカイブ化やICT教材やアプリ等の情報の共有を行うことで、授業でのICT機器の利用を促していく。また、HPの「学校ブログ」や「授業実践」にて発信していく。**

Q21「施設・設備」の評価は、肯定的な回答が微増しているものの、依然低い。昨年度は体育館の空調設備が整い、今年度はトイレの洋式化が進んだ。引き続き、より生徒が使いやすい環境になるよう、改修を進めていく。

教員用 回答数:94 回答率100% (R5回収率77%)

——肯定的回答が増えたもの——(5pt 以上 up)

Q1 6.3pt↗「願いに応じた教育活動」 Q10 16.3pt↗「他の授業を参考にしている」

Q16 8.7pt↗「適正な人事配置、意欲的に取り組める環境」

Q21 6.8pt↗「初任者・経験の浅い教員への支援」

——否定的回答が増えたもの——(5pt 以上 up)

Q17 10.1pt↘「積極的な経営参画」 Q24 6.2pt↘「ヒヤリハット報告の活用」

——肯定的回答が低い項目——(肯定回答80pt以下・[R5年度])

Q10 「他の授業を参考にしている」78.8pt[62.5]

Q14 「准校長のリーダーシップ」68.1pt[68.1]

Q15 「教職員の意見の反映」66pt[69.4]

Q16 「適正な人事配置、意欲的に取り組める環境」71.2pt[62.5]

Q17 「積極的な経営参画」56.4pt[66.7]

Q21 「初任者・経験の浅い教員への支援」73.4pt[66.6]

Q23 「施設設備の点検・管理」60.7pt[54.2]

Q24 「ヒヤリハット報告の活用」79.8pt[90.3]

【集計結果より】

「他の授業を参考にしている」で肯定的回答が10pt以上増えている。授業力向上 PT が中心となり、今年度より実施した教員向け授業公開の取り組みが影響したものと考えられる。授業改善の意識が高まり、互いに参考にし合う文化が根付くよう、引き続き取り組みを進めていく。一方で、経営への参画について否定的ポイントが増えており、経営参画や、意見反映についてのプロセスを見直す必要がある。

★次年度の重点課題とされる項目★ ※「⇒」以下は具体的な取り組み案

Q15・17「積極的な経営参画」⇒全校で継続的に校務の効率化を進め、教職員がゆとりをもって働ける環境を整える。さらに、それにより教職員同士が授業や校務全般について自由に意見を交わしやすい学校づくりをめざす。

Q21「初任者・経験の浅い教員への支援」⇒支援研究部、授業力向上 PT、首席が中心となり、経験の浅い教員のニーズにあった校内研修の計画や、教員向け授業公開時に見学に行きやすい体制づくりを進めていく。また、首席が相談窓口としての役割を担い、授業づくりや支援教育の専門性向上、校務の効率化についての助言を行う。

Q24「ヒヤリハット報告の活用」⇒体育健康指導部が中心となり、データの見やすさや、発見から報告までの手順についての改善を図る。また、部内にヒヤリハット報告担当を設置し、活用の促進を図る。